



キク編

病害虫注意報 2022年7月号



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

立枯病

---予防と対策---

高温に伴い、各種病原菌による立枯症状が発生しやすくなります！

- 〈対策例〉
- ①適正な水管理を行う
 - ②遮光剤等による高温対策
 - ③活着促進資材を使用
 - ④予防薬剤を使用する

萎れ症状等で根傷みの兆候がある場合は早急に酸素剤の使用など、根の回復に努めましょう！

FRAC	対象病害・使用目的	薬剤名	希釈倍数・使用量	処理方法
14	立枯病など	リゾレックス水和剤※	500～1,000倍 3L/m ²	土壌灌注(生育期/5回)
4,11	立枯病 (リゾクシア菌)	ユニフォーム粒剤※	18kg/10a	土壌表面散布 (定植時または生育期/3回)
32	発根促進	タチガレン液剤	1,000倍 5～10L/m ²	土壌灌注(挿し芽直後/1回)

※花き類・観葉植物登録

今月のおすすめローテーション



地域の防除事例を基に作成しています(輪菊栽培)。品種、栽培条件によっては薬害が発生する場合があります。ご注意ください。さらに、展着剤・葉面散布剤等を加用する場合もご注意ください。

※花き類・観葉植物登録

時期	IRAC FRAC	対象病害虫	薬剤名	使用量・希釈倍数	使用時期	回数
定植時	P02	白さび病	予 Inochio キクチャ粒剤	6～9kg/10a (作条土壌混和)	定植時	1回
生育初期	M03	白さび病	予 ジマンダイセンフロアブル	500～800倍	-	8回
29		アブラムシ類	ウララ50DF	5,000～10,000倍	発生初期	6回
消灯時	3	白さび病・うどんこ病	予・治 アンビルフロアブル	1,000倍	発病初期	7回
19		ハダニ類	ダニカット乳剤20	800倍	開花前	2回
発蕾時	11	白さび病	予・治 Inochio オペラフラワー乳剤	2,000倍	発病初期	3回
23		アザミウマ類・アブラムシ類 ハダニ類	Inochio セイレーンフロアブル	2,000倍	発生初期	3回
破蕾時	7	白さび病	予・治 カナメフロアブル	4,000～8,000倍	発病初期	3回
6		ハダニ類・アザミウマ類	アグリメック※	500倍	発生初期	5回

海藻サンバ

イノチオの新しいバイオスティミュラント！

1,000倍 挿し穂浸漬処理、または散布

- ▶コリンによる**光合成促進**と**発根促進**
- ▶海藻エキスによる**発根促進**
- ▶転流を促進



肥料登録番号
生第101491号

高温対策に！

効果は約1か月

すずみどり

香り成分で、葉焼けや萎れ等の高温障害を予防！
更に光合成を向上

ハウス内に吊るすだけ
10a当たり10～20錠

